

虹の架橋

(桐生市新里町)

日本の考古学の歴史を塗り替えた岩宿遺跡の発見者・相沢忠洋さんの奥様で相澤忠洋記念館の館長さん。みどり市倫理法人会のメンバーでもあります。

で、インターネットからでもご覧いただけます。

松崎運之助(みちのすけ) 先生は夜間中学校の元教員で、山田洋次監督の映画『学校』の原作者で主人公のモデルでもあります。一昨年、ながめ余興場での松崎先生の講演会がきっかけで『路地裏通信』という心温まる新聞を毎号読ませて頂いています。

鍵山秀三郎著『すぐに結果を求めない生き方』(PHP研究所)という本の中にも『路地裏通信』が紹介されています。

「…九州に一人の新聞配達少年がいました。近所の子どもが彼

に石を投げていじめました。少年は石を投げた子どもに『おれが何か悪いことをしたか』と聞きました。『いったい何をやっているのかと思っただけだ』『新聞配達をしているのがわかるだろう』『なぜそんなことをしているんだ』『お前らの家と違っておれの家は貧乏だから、おれが親を助けなきゃ生きて行かないんだ。今度、邪魔したら許さんぞ』。その氣迫に負けて、石を投げた子どもは、『自分にも新聞配達をやらせてくれ』とお願いしました。

少年は『いいかげんな気持ちでいったらおれが許さんぞ』といったそうです。話の中の少年は、子どもなりに責任感を持って目標に向かって頑張っていたのでしょうか。少年の親も、貧しくとも誠実に生きていたはず。だからこそ少年も『自分も自分のやるべきことをしなければならぬ』と思うようになった。これが健全な家庭というものです。親としての行いを実践していれば、よい感性は子どもに伝わります。そこで大切なことは、学びを得たら、それを生かす努力をすることです。

いつもお香を焚いている部屋には、お香の匂いが染み渡

り、焚いていなくてもよい匂いがあるようになります。これを『熏習』(くんじゅう)と呼びます。意識の高い人たちがそれぞれ人に学び、感性を養い、更にその学びを実践し、周りに伝える。そうした努力があれば日本の秩序ある社会はきつと維持されていくものと心から期待しています」


九月二十九日午後二時、松崎運之助先生が主宰する「路地裏の会」が、ながめ余興場で「路地裏フェスティバル」を開催します。

路地裏通信
それぞれに

灯明の揺れ静まりて迎え盆

迎え盆ではお寺からいただいてきたお灯明を仏壇に移します。揺れていた灯りが徐々に静まっていく様子を見ていると心も落ち着き、両親や先祖が我が家に帰ってきた安堵感を感じます。お盆は先祖と今を生きる家族との絆を確かめる時でもあります。

作家の吉川英治さんは、「私は両親に会おうと思えばいつでも会えます。それには、私の脈をとるのです。私の体の中に両親も先祖も生きてくれており、一度も切れないで続いてくれているのです」と言っていました。私たちはいつもご先祖に見守られています。



第二七八号は十月一日（月）発行予定です。

小耳にはさんだ いい話
(文責・靖)
《277》

『熏習』
(くんじゅう)

[illegible]


ギレなどの販売や樹脂粘土のワークシヨップコーナーもあります。

大間々の地名の由来でもある「大きなまま」、間々とは崖のこと。渡良瀬川の浸食によって削られた河岸段丘は十万年の歳月をかけて大間々の地形を作りました。

郷土を代表する文化人だった萩原康次郎さんは、大間々の魅力を「間々はゆりかご」と題する上・下巻の本に書き残しています。

徳島市の齋藤修一さんは(株)エムズという建設会社の社長さん。齋藤さんが発行する「エムズ新聞」が二十年、二四〇号を超えました。毎月、縁のあつた方に題字を書いてもらい、自筆の「修ちゃん日記」というコーナーもあり、虹の架橋と「兄弟新聞」のような親しみを感じています。今から十七年前、「虹の架橋を参考にさせてほしい」と徳島から訪ねてきて下さり、赤城山のペンションに泊まって語り合った時のことが懐かしく思い出されます。エムズ新聞には毎月、齋藤さんの絵も掲載されています。

自分たちの結婚式の写真や子どもたちの写真も出てきた。幸せそうな写真は、父がシベリアで死んでいたら、自分も生まれていなかった。両親を見習って上手な字を書こうと思ったが、いつも飄々とした字になってしまった。



世界一小さな
定利屋
トイレ美術館

今月の絵 《277》
 齋藤修一さん『秘境』



靖ちゃん日記

八月十五日（水）
八年前の今日、父のシベリア抑留の手記を発見した。「何か何でも生きて故国の土を踏むまでは」と書いてあった。以来、毎年八月十五日には物置の段ボール箱を開けてみている。軍服を着た父の字真があった。裏に父の達筆寺字で「昭和十七年十二月二十六日」とあった。八十年前の前橋高等女学校時代の母の「家事帳」というノートもあった。上手な文字だった。少女時代の母の姿を想像した。

♡ やつちやんの似顔絵提供.. ひさかさん

灯明の揺れ静まりて迎へ盆